参考資料6

第５次明日香村整備計画の進捗状況について
（詳細版）

国土交通省

1. 国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進

国土交通省

ア. 明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進①

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①明日香の歴史的価値についてのストーリー性のある説明と展示の実現

②VR・AR技術やスマートフォンアプリ等を活用した展示等の推進

③国宝高松塚古墳壁画の保存管理・公開のあり方の検討

④飛鳥京跡苑池及び飛鳥宮跡の「見える化」の整備

⑤古墳等の整備及び展示

⑥文化財の防災対策

具体的な取組内容・進捗状況

① 飛鳥の魅力を発信できる人材の発掘と育成
・飛鳥地域（母国語）プロガイドの創設
R４年度：プロガイド養成講座を開催
R５年度：実地研修、第一号認定の予定

② ＡＲ・ＶＲ技術の活用により、ストーリー性を構築し、明日香村全体の位置付けや周辺遺跡との関連性がわかる展示
・(交)ARコンテンツを制作し、アプリで配信
R２年度：飛鳥宮跡・飛鳥水落遺跡
R３年度：川原寺跡・大官大寺跡
R4年度：飛鳥寺跡・石舞台古墳
・メタバース空間でのVRコンテンツ展示の仕組みづくり
飛鳥京跡苑池・高松塚古墳ＶＲコンテンツを制作

③ 高松塚古墳壁画の保存管理・公開に向けた検討
・高松塚古墳壁画保存管理公開活用施設（仮称）の設置要望に対し、国で基本構想、基本計画作成を推進

④「飛鳥宮跡」及び「飛鳥京跡苑池」の一部「実物展示も含めた史跡整備
・ 飛鳥京跡苑池整備
保存整備・活用検討委員会開催

・ 飛鳥宮跡整備
活用検討委員会開催

現時点での成果・課題

①：【課題】
・国、県、村の三者の既存施設が連携し、明日香村の全体が理解でき、ストーリー性のある歴史展示が不十分
・プロガイドの制度化による継続性が必要

②：【課題】
・個々のコンテンツの充実とメタバース空間の活用などによる全体が理解できる仕組みづくりが必要
・万葉文化館等の施設において活用を検討
・デジタル情報化による権利等の整理が必要

③：【課題】
・文化観光に寄与し、周辺施設と連携が良好な施設となるよう、村や県の関連施設等との継続した検討が必要

④ ：【課題】
・遺構の検出に伴う設計の見直しなど、柔軟な対応が必要
※R元年度に北池北東部から重要遺構が検出
・未公有化及び未買収地があり、対応が必要
・令和８年度の世界遺産登録に向けた取組みについて関係部局との調整が必要
・整備工事のついて、施工体制や事業費の確保が必要
・具体的な展示内容・運営体制について引き続き検討が必要

国土交通省

ア．明日香の歴史を体感できる歴史展示の推進②

・奈良県、・明日香村、国・県、(交)交付金事業

計画内容

①明日香の歴史的価値についてのストーリー性のある説明と展示の実現

②VR・AR技術やスマートフォンアプリ等を活用した展示等の推進

③国宝高松塚古墳壁画の保存管理・公開のあり方の検討

④飛鳥京跡苑池及び飛鳥宮跡の「見える化」の整備

⑤古墳等の整備及び展示

⑥文化財の防災対策

⑤-4 周辺史跡や名所等を含めた維持管理
・(交)古道の修繕・除草管理　L=10,400m
・(交)史跡地等の除草、簡易な補修等維持管理
川原寺跡、高松塚古墳、定林寺跡、大官大寺跡、於美阿志神社、都塚古墳、岩屋山古墳、飛鳥稲淵宮殿跡、亀石、中尾山古墳、キトラ古墳、酒船石遺跡、水落遺跡、亀形石造物、マルコ山古墳、八釣マキト古墳等

⑥ 文化財の防災対策
・奈良県文化財防火対策条例制定(R2年度)
・スプリンクラー、防火水槽の設置等の実施

具体的な取組内容・進捗状況

⑤-1 「牽牛子塚古墳」や「真弓鑵子塚古墳」等の墳丘及び周辺環境整備
・牽牛子塚古墳及び越塚御門古墳の整備（R3年度完成）
※「牽牛子塚古墳・越塚御門古墳」の整備事業へ県補助を実施(R２～３年度)
・中尾山古墳 基本構想策定(R4年度)
基本計画策定(R5年度予定)
※「中尾山古墳」の史跡整備に向けた明日香村主催の委員会にオブザーバーで参画(R4～5年度)

・飛鳥宮跡、紀寺跡、飛鳥京跡苑池の休憩舎管理、草刈り、説明板の更新等の実施
・史跡等整備活用に係る経費補助

⑤-2 飛鳥時代に活躍した人物の時代背景にスポットを当てた展示
・越塚御門古墳石室内解説映像 (R3年度)

⑤-3 市町村が行う史跡等整備活用事業のうち、地域振興に資するものに対して支援
・歴史文化資源の保存・修理や周辺整備等のハード事業のほか、歴史文化資源の普及啓発のためのイベント等ソフト事業への補助
（R３ ：牽牛子塚）

現時点での成果・課題

⑤-1：【課題】
【中尾山古墳】
・具体的な整備に向けて引き続き検討が必要
【真弓鑵子塚古墳】
・史跡指定、公有化の推進が必要
【その他古墳及び全体としての課題】
・遺跡の範囲は広大であるため 、長い時間と費用が必要
・史跡整備には多額の費用がかかるため、費用の一部を県で支援が必要

⑤-2：【課題】
・各史跡のつながりや全体像をわかりやすくするために、日本遺産等を活用した飛鳥時代に活躍した人物の時代背景にスポットを当てた展示の充実が必要

⑤-3：【課題】
・県および村と国と協議し、適切に対応

⑤-4：【課題】
・計画的、効果的な継続した維持管理が必要

⑥：【課題】
・県、村に加え、国とも協議しながら、継続的な対策の実施が必要

国土交通省

イ. 歴史文化資源の計画的調査

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①埋蔵文化財の発掘調査及び成果の共有・公開

②史跡の保存活用計画作成の推進

③村内の自然的環境等に関する調査の実施及び情報発信

具体的な取組内容・進捗状況

①-1 調査機関が連携し、飛鳥京跡苑池や飛鳥宮跡等の計画的な発掘調査
・飛鳥・藤原京五者会議（奈良文化財研究所・橿原考古学研究所・明日香村）を定期開催
・発掘調査の実施
中尾山古墳　200㎡、甘樫丘遺跡群　481㎡
岩屋山古墳 66㎡　等
飛鳥京跡苑池　1532 ㎡、飛鳥宮跡　500㎡
・(交)発掘調査員の設置

①-2 発掘調査成果の公開機会の創出
・「明日香村文化財調査研究紀要」の発行
・(交)定点ガイド設置
明日香村埋蔵文化財展示室、亀形石造物
・発掘調査現地見学会の開催
・中尾山古墳、甘樫丘遺跡群、飛鳥京跡苑池(R2年度)
・(交)講演会等の開催(R3:4回、R4:5回)
・(交)発掘調査写真等のデジタル化　12,402点

② 保存活用計画の作成
・飛鳥宮跡保存活用計画作成(R3年度)

③ 現在の明日香村の景観形成に寄与する資産の調査
・登録有形文化財（建築物）　1件

現時点での成果・課題

①-1 :【課題】
・さらなる飛鳥の価値や魅力を解明するために、村内に多く存在する埋蔵文化財の未発掘調査エリアの、国・県・村が連携した計画的かつ重点的な継続調査が必要

①-2 :【課題】
・新たな調査結果を加えた飛鳥の価値が分かる埋蔵文化財展示室等の展示及び解説の継続が必要
・講演会等への参加者層の拡大が必要
・デジタル化を進めるデータの活用しやすい公開方法の検討が必要

③ :【課題】
・調査の対象や体制の検討が必要

国土交通省

ウ．世界遺産登録の実現と国内外への情報発信

・奈良県、・明日香村、県・村、(交)交付金事業

計画内容	具体的な取組内容・進捗状況	現時点での成果・課題
①「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録の実現 ②世界遺産の情報発信拠点機能の整備	① 世界遺産登録に向けた関係機関との協議、推薦書の作成、機運醸成 ・国内選定のための書類提出（R2・３・４・５(予定）年度） ・講演会の開催（協議会） ② 情報発信拠点となる機能の検討 ・世界遺産構成資産の包括的保存管理計画において検討	①：【課題】 ・国内推薦を得るために必要な推薦書(素案)等の内容充実が必要 ・ユネスコ提出に向けた推薦書（英語版）の作成が必要 ・登録後の包括的管理に向けた準備が必要 ・登録に向けた機運情勢及び登録後の世界遺産を活用した施策に向けた検討が必要 ②：【課題】 ・世界遺産登録の価値をわかりやすく表現し、現地の資産等と合わせて理解してもらいやすい情報発信の検討が引き続き必要

1．国家基盤が形成された地に相応しい歴史展示の推進
※ア＋イ＋ウの進捗率
17.6%

※進捗率＝R4年度末最終実績/10(R2～R11)年間計画総額

ア. 明日香にふさわしい景観の形成①

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①景観に配慮した集落の創出（景観計画の策定等）

②古都保存法買入地の適正管理

③飛鳥宮跡に隣接する集落を中心とした無電柱化による集落景観の向上及び集落の背景に広がる里山景観の創出

④河川環境整備、棚田の保全、山林の保全による明日香らしい空間の創出

⑤住民参画、企業やボランティア等の多様な主体との連携による景観保全活動の推進

具体的な取組内容・進捗状況

① 景観への配慮と住民意識の向上
・(交)環境美化啓発活動の参加数
R２:2,158人、R３:2,179人、R４:2,193人
・ (交)建築物等の修景補助の件数
R２:住宅等44件、塀5件、石積み7件、
生け垣 3件
R３:住宅等37件、塀10件、石積み3件、
生け垣 5件
R４:住宅28件、塀7件

② 管理・活用の方針を策定し、適正な管理活用
・古都法に基づく買い入れ地の利活用に関するガイドラインの作成を推進
・明日香村との年間維持管理委託により、村において、維持管理を実施

③-1 飛鳥宮跡に隣接する集落を中心に無電柱化推進
・4路線の無電柱化検討(R3年度)

③-2 荒廃が進む里山の適正な管理と景観創出
・竹林整備(5地区) A=3,990㎡

現時点での成果・課題

①：【課題】
・集落景観における景観のコントロールと住民への支援継続が必要

②：【課題】
・耕作放棄地等の活用のあり方についての具体的な検討が必要

③：【課題】
・飛鳥宮跡から見渡す空間や飛鳥川などの放棄竹林の解消及び万葉集にうたわれた景観を感じられる空間づくりが必要

ア. 明日香にふさわしい景観の形成②

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①景観に配慮した集落の創出（景観計画の策定等）

②古都保存法買入地の適正管理

③飛鳥宮跡に隣接する集落を中心とした無電柱化による集落景観の向上及び集落の背景に広がる里山景観の創出

④河川環境整備、棚田の保全、山林の保全による明日香らしい空間の創出

⑤住民参画、企業やボランティア等の多様な主体との連携による景観保全活動の推進

具体的な取組内容・進捗状況

④-１ 棚田の保全
・棚田整備(稲渕) A=14,453㎡

④-２ 山林の保全
・間伐 A=49.47ha、皆伐・植栽 A=1.6ha
枝打 A=1.84ha

⑤ 多様な団体等の活動支援
・(交)オーナー制度活動支援
参加者数R２:584名、R３:568名、R４:620名
・(交)景観づくり協議会活動支援
支援数R２:1件、R３:1件、R４:1件
・(交)活動資金調達支援
支援数R３:3件、R４:2件

現時点での成果・課題

④：【課題】
・棚田景観保全のための、棚田中央を流れる飛鳥川の荒廃木竹等の対策が必要
・里山景観の創出を行う担い手の確保が急務

⑤：【課題】
・各種オーナー制度において、インストラクターの高齢化による受入体制の脆弱化

国土交通省

イ. 農業の活性化

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容	具体的な取組内容・進捗状況	現時点での成果・課題
①新しい技術の導入も視野に入れた営農環境の構築 **②６次産業化の推進による稼げる農業の推進** **③遊休農地拡大防止等への対応（集落営農の推進 、担い手育成塾等）**	①-1 付加価値の高い野菜等、新たな農産物の栽培実証 ・(交)新たな作物の作付け　A=1ha ①-2 省力化等新たな技術の活用も視野に入れた取組 ・(交)省力化野菜の作付け　A=3ha ②農業戦略を策定し、試験栽培や加工品の開発、販路を拡大 ・(交)農業戦略の策定(R2年度) ・(交)商品の開発 R2:6種類、R3:5種類、R4:4種類 ・(交)販路拡大のため商談会や物産展への参加 ③-1 集落営農の推進 ・新規就農者支援　R4年度時点　4名 ・集落活動支援　2集落 ③-2 農家の担い手育成塾の開催 ・(交)座学講習及び実践作業 参加者　R3:2名、R4:1名	①:【課題】 ・農地の水量管理など新たな技術による、営農者負担の軽減が必要 ②:【課題】 ・小規模多品目の地域であるため収穫量が少なく、市場ニーズに応えられない。 ・開発したフリーズドライ商品や米粉商品などの加工品の加工能力や加工商品ストック場所の不足により、需要へ対応が出来ない。 ③:【課題】 ・新規就農者の定着に向けた、安定した収益と作業場を兼ねた住居の提供が必要

ウ. 樹林地の景観のマネジメント

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容	具体的な取組内容・進捗状況	現時点での成果・課題
①獣害対策の実施（緩衝帯設置等）	① 山地と農地の間に緩衝帯の設置、防止策の設置と適正な管理、駆除及び生息地や活動区域の調査 ・地域の防御力強化に向けた集落診断 ・捕獲専門員の設置と猟友会との連携 ・狩猟免許取得・更新支援 ・電気柵購入支援 ・捕獲檻 15基追加 駆除数　鹿:106頭、イノシシ:107頭(R4年度)	①:【課題】 ・捕獲員の確保 ・住民との連携による継続した取組
②山林の林縁部における里山景観の創出	② 竹林の適正な管理や広葉樹の植樹による里山景観の創出 ・<再掲>竹林整備(5地区) A=3,990㎡ ・杉、桧の皆伐と広葉樹植栽 A=1.6ha	②:【課題】 ・効果的な取組にするためには、今後整備予定の飛鳥宮跡周辺や棚田地域など重点的な整備が必要 ・整備後の管理体制の構築が必要
③良好な森林景観の創出	③森林経営の受委託の促進 ・間伐 A=49.47ha、枝打 A=1.84ha ③ 間伐材の有効利用 ・間伐材搬出 各年度 130立米	③:【課題】 ・森林整備の財源確保 ・林家に対する森林整備の必要性啓発

2． 歴史的風土の維持・向上に向けた営農環境の基盤整備及び自然環境の保全
※ア＋イ＋ウの進捗率
15.0%

※進捗率＝R4年度末最終実績/10（R2～R11）年間計画総額

歴史的風土の維持・向上に向けた地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展

・奈良県、・明日香村、
(交)交付金事業

計画内容

①祭礼行事 ・ 伝承芸能の次世代への継承、調査 、 記録の保存等

②地域の伝統文化の担い手育成

③伝統行事の継続と来訪者の参画による地域の活性化

④若手芸術家による作品制作等を通じた明日香の魅力の発信

具体的な取組内容・進捗状況

①-1 村内の無形・有形民俗文化財の調査、記録保存を通じて、郷土意識の醸成や観光振興に活用
・令和4年度：国営飛鳥歴史公園あすか風舞台で、県内の民俗芸能を披露するイベントを実施
(明日香村からは「明日香南無天踊り」が出演)
・「奈良県無形文化遺産アーカイブ」として、県内の民俗文化財を記録した動画をYouTubeに掲載
(明日香村からは飛鳥坐神社のオンダ、栢森・稲淵のツナカケの５件の映像を掲載)

①-2 祭礼行事等の調査や記録の保存
・明日香村の大字に伝わるはなし(文化協会発行)

② 明日香を発信できる人材育成と伝統文化の担い手育成
・(交)幼小中一貫による「明日香学」の開講
・(交)伝承芸能の活動継続
（八雲琴、南無天踊り、蹴鞠、万葉朗唱）
・(交)姉妹都市学校間交流の実施
・(交)英語圏との交流による明日香発信の人材育成
・伎楽に関するワークショップの開催

③ 明日香村の芸能、伝統、歴史、文化、農業をテーマとするイベントを継続して実施し、来訪者が参画できる機会を創出
・(交)彼岸花まつりの開催支援
・(交)農家と飲食店、交通事業者等が連携したいちごキャンペーン

④ 文化芸術イベントの継続・発展による次世代に継承できる新たな文化の育成
・明日香の匠展の開催

現時点での成果・課題

① :【課題】
・民俗文化財の保存・継承には、地域の活性化、伝承者のモチベーションの向上、担い手の拡大が必要。
・引き続き、「奈良県無形文化遺産アーカイブ」での動画公開や保存団体同士が保存・継承の取組を共有する場の提供など、村や保存団体による保存・継承のための取組を支援していく。

② :【課題】
・伝承芸能などの指導者の高齢化
・世界遺産に向けた飛鳥時代の国際交流が分かる「伎楽」などの創作が必要

③④:【課題】
・世界遺産に向けた飛鳥時代の国際交流が分かる「伎楽」などの創作が必要
・文化を継続するための、観光事業との積極的な連携が必要

3． 歴史的風土の維持・向上に向けた地域の祭礼行事や伝承芸能の継承・発展
21.1%

※進捗率＝
R4年度末最終実績/10（R2～R11）年間計画総額

ア. 滞在型・体験型観光の推進及び受入環境の整備①

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①安全安心に歴史的風土を体感しながら周遊できる環境整備

②移動手段の確保

③情報の一元化と総合窓口の充実、プログラムの充実等のおもてなしの向上

④宿泊施設等の誘致と夜間の滞在空間の創出

具体的な取組内容・進捗状況

① 案内サインや観光案内板設置、周遊歩道の整備
・周遊歩道整備
自然色舗装　L=1,056m
・(交)ネットワーク道路整備
自然色舗装 L=1,364m
転落防護柵 L=99m

② 周遊バスや新たな技術を用いた移動手段の導入、レンタサイクルや徒歩へ誘導するためのシステム構築、自転車・歩行空間の整備
・(交)周遊バスの運行
・AI活用によるデマンド型乗り合いタクシー導入実験
・電動三輪オートバイの導入実験
・自動運転実証実験
・駐車場予約と観光施設入場料、公共交通乗車券等を一体化したデジタル共通券の開発

③ 観光情報の一元化と総合窓口機能の充実、長期滞在型観光を視野に入れた旅行商品造成
・飛鳥駅前総合案内所において観光協会が中心となった案内サービスの提供、ECサイトの立ち上げ
・(交)旅行商品の造成　(16商品)
・文化観光を軸とした高付加価値ツアーの造成
・オンラインツアーの造成
・＜再掲＞飛鳥地域（母国語）プロガイドの創設

現時点での成果・課題

①:【課題】
・設置から40年が経過した17kmに渡る周遊歩道の老朽化と社会情勢やユニバーサルデザインに対応した整備検討が必要
・継続した修繕が必要

②:【課題】
・住民、来訪者双方にとって利便性の高い交通システムの検討が引き続き必要
・自家用車による来訪者の公共交通への利用転換がさらに必要
・一定量の駐車や乗り換えスペースの確保が必要
・広域的な連携が必要
・運行の継続及び新たな技術の活用に向けた財源が必要

③:【課題】
・造成した旅行商品や体験プログラムを販売するための販路確保やプレーヤーとなる人材の確保が必要

ア. 滞在型・体験型観光の推進及び受入環境の整備②

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容	具体的な取組内容・進捗状況	現時点での成果・課題
①安全安心に歴史的風土を体感しながら周遊できる環境整備 ②移動手段の確保 ③情報の一元化と総合窓口の充実、プログラムの充実等のおもてなしの向上 **④宿泊施設等の誘致と夜間の滞在空間の創出**	④-1 宿泊施設及び文化芸術施設の誘致 ・連携協定による宿泊施設設置に向けた準備 ・文化芸術施設設置に向けたサウンディング調査 ④-2 空き家等を活用した宿泊施設等の整備に対する支援 ・(交)商業施設設置に伴う改修支援 R2:2件、R3:2件、R4:3件 ④-3 夜間の魅力的なイベントの開催 ・(交)社寺等と連携した夜間イベントの開催(R2・3) ・国営飛鳥歴史公園キトラ周辺地区内での星空等イベント	④-1:【課題】 ・用地買収から開業までに長期の期間が必要 ・民設民営では、文化芸術施設設置を検討する事業者がない ④-2:【課題】 ・空き家に対する改修費用が高い ・商業施設として活用するために必要な駐車スペースの確保が必要 ④-3:【課題】 ・大規模イベントにおけるユニバーサルデザイン対応の不足

4. 国内外の来訪者が明日香らしさを体感できる観光交流の振興

イ. インバウンド観光の推進、ウ. 戦略的観光プロモーションの推進

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①インバウンド観光の推進
・先端技術を活用した観光案内情報の発信による誘客促進
・ＳＮＳの活用促進

②戦略的観光プロモーションの推進
・観光実態データの収集及び分析の実施
・プロモーションの実施

具体的な取組内容・進捗状況

①インバウンド観光の推進のための先端技術やSNSを活用した情報発信等の充実化
・(交)公式Instagram運営
R4.3月時点フォロワー数　約8,000人
・(交)観光情報ポータルサイトの充実

②観光戦略を策定し、計画に基づく戦略的なプロモーションを推進
・(交)観光戦略の策定
・(交)ビジュアルポスター作成
・歴史文化資源の収益性及び周遊性向上を目的とした御朱印の作成

現時点での成果・課題

①:【課題】
・継続性と利用者に関心を持ってもらえる内容の充実

②:【課題】
・夏、冬の観光閑散期をなくし、観光来訪者の年間を通じた平準化に向けたプロモーション検討
・村が目指す、ゆっくり滞在し明日香村を堪能するイメージや情報の発信

4．国内外の来訪者が明日香らしさを体感できる観光交流の振興
※ア＋イ＋ウの進捗率
50.0%

※進捗率＝R4年度末最終実績/10（R2～R11）年間計画総額

5. 村民が定住できる生活環境基盤の整備

ア. 安全安心な生活環境基盤の整備①

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①道路の整備

②河川の整備

③上水道、下水道の整備

④消防施設の整備

⑤地域コミュニティの整備（役場庁舎等）

⑥砂防施設の整備

具体的な取組内容・進捗状況

①-1 幅員狭小区間の解消を図り、生活道路及び主遊歩道等整備
・県道多武峰見瀬線整備
（島庄工区） 設計、測量、用地取得、発掘調査
（石舞台工区） 設計

①-2 橋梁の計画的な修繕
・橋梁補修工事(4橋)

② 河川整備の推進（飛鳥川、戒外川、平田川）
【飛鳥川整備（水辺の保全・創出等環境整備）】
令和2年度 管理用道路工事、護岸工事を実施
令和3年度 排水管路整備工事を実施
令和4年度 護岸工事を実施
令和5年度 橋梁架替に係る仮橋設置工事を実施

【飛鳥川、戒外川、平田川整備（河川改修）】
事業準備中

現時点での成果・課題

①-1:【成果】
・供用開始に向けて事業を進捗中

①-2:【課題】
・引き続き計画的な点検及び修繕が必要

②:【課題】
【飛鳥川整備(水辺の保全・創出等環境整備)】
・村の地域活性化計画と連携し、奥飛鳥の風土にふさわしい水辺の保全・創出、生態系に配慮した河川環境の整備に合わせた洪水調節効果を有する河道改修を実施検討が必要

・【飛鳥川、戒外川、平田川整備(河川改修)】
用地交渉、地元交渉、境界整理等の継続

5. 村民が定住できる生活環境基盤の整備

国土交通省

ア. 安全安心な生活環境基盤の整備②

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①道路の整備

②河川の整備

③上水道、下水道の整備

④消防施設の整備（防災訓練を含む）

⑤地域コミュニティの整備

⑥砂防施設の整備

具体的な取組内容・進捗状況

③-1　下水道の計画的な管渠更新と維持管理
・ストックマネジメント計画策定
・下水道整備(細川地区)L=108m

③-2　上水道の老朽管路の更新や耐震化、広域水道化の促進
・老朽管更新L=389.5mなど
・R7年度県域水道事業統合化に向けた準備

④ 防火水槽の整備や消防機器等の計画的な更新、防災訓練の実施
・防火水槽整備　(桧前地区)1基
・消防指揮車の更新　1台　など

⑤-1 防災拠点及び地域コミュニティーの核となる新庁舎の整備
・行政棟、交流棟、防災広場を備えた庁舎(R4完成)

⑤-2 厚生施設等公共施設の再編及び整備
・図書室の移転整備検討(R4)

⑥ 急傾斜地崩壊防止対策を実施
・擁壁及び法面保護整備　４カ所完了

現時点での成果・課題

③:【課題】
・引き続き計画的な整備が必要

④:【課題】
・防火水槽未設置地区の消防水利の設置検討が必要
・計画的な機器更新が必要

⑤-2:【課題】
・旧役場庁舎や公民館分館などにおいて、他機関との調整が必要

⑥:【課題】
・一つのブロックについて、施工箇所の進入路が狭小で施工が極めて困難
・このブロックの工事にかかる地元調整が必要

イ. 住みよい生活環境づくりと雇用環境の創出

・奈良県、・明日香村、(交)交付金事業

計画内容

①定住の促進

②公共交通の確保

③村の活性化及び企業の誘致

具体的な取組内容・進捗状況

①-1 市街化区域空閑地を有効活用した住宅地形成
・(交)地権者意向調査
・(交)地域における勉強会の開催

①-2 空き家を活用し、既存集落への定住や二地域居住等を進める
・(交) 空き家バンク制度の実施
(成立件数R2:7件、R3:15件、R4:11件)

② デマンドバスなどの仕組みを活用した移動の確保
・<再掲> AI活用によるデマンド型乗り合いタクシー導入実験

③土地利用の検討を行い、奨励金等の優遇制度等を活用し、明日香村に関心を持つ企業誘致
・宿泊施設誘致に向けた地区計画を策定(R2年度)

現時点での成果・課題

①-1:【課題】
・物価高騰による工事費増大に伴い、地権者の機運が上がらない状況

①-2:【課題】
・供給できる物件の不足
・利用者の高額な改修費負担が必要
・物件の大きさなど利用者ニーズと物件の不一致

②:【課題】
・住民、来訪者双方にとって利便性の高い交通システムの検討が引き続き必要

③:【課題】
・明日香村で取り組みを行うことのハードルの高さを理解してもらうことに労力が必要

5．村民が定住できる生活環境基盤の整備
※ア＋イの進捗率
63.3%

※進捗率＝R4年度末最終実績/10（R2～R11）年間計画総額